



令和3年度スポーツ庁委託事業
障害者スポーツ推進プロジェクト
「障害者スポーツ団体の連携及び体制整備への支援事業」

成果報告書



事業目的

日本知的障がい者陸上競技連盟の大きな課題として、登録選手数の減少がある。特にこの1年はコロナ禍もあり、組織運営の危機と考え、この要因の1つとして、競技会数が少ないことが挙げられる。障がい者陸上競技の関心意欲は、年々高まっており、活動の場を求める声は障がい者より多く寄せられているが、身体、知的、聴覚などの各競技団体の現在の組織体力では、それぞれが実施できる陸上競技会は日本選手権など年1-2大会程度であり、参加できる障がい種別もそれぞれの競技会で限られている状況である。また、幅広い障がい者層への機会提供のためには、各地域における競技会開催が強く求められる。

この課題の解決には、障がい者陸上競技団体間の連携を図り、競技会運営の効率化を図るとともに、各障がい者陸上競技大会等における参加対象障がいを拡大すること。そして、一般の地域陸上競技協会と連携し、障がいの有無にかかわらず参加可能な陸上競技会の開催を事業の目的とする。



インクルーシブな陸上競技会開催をめざした整備事業（地域連携モデルの構築）

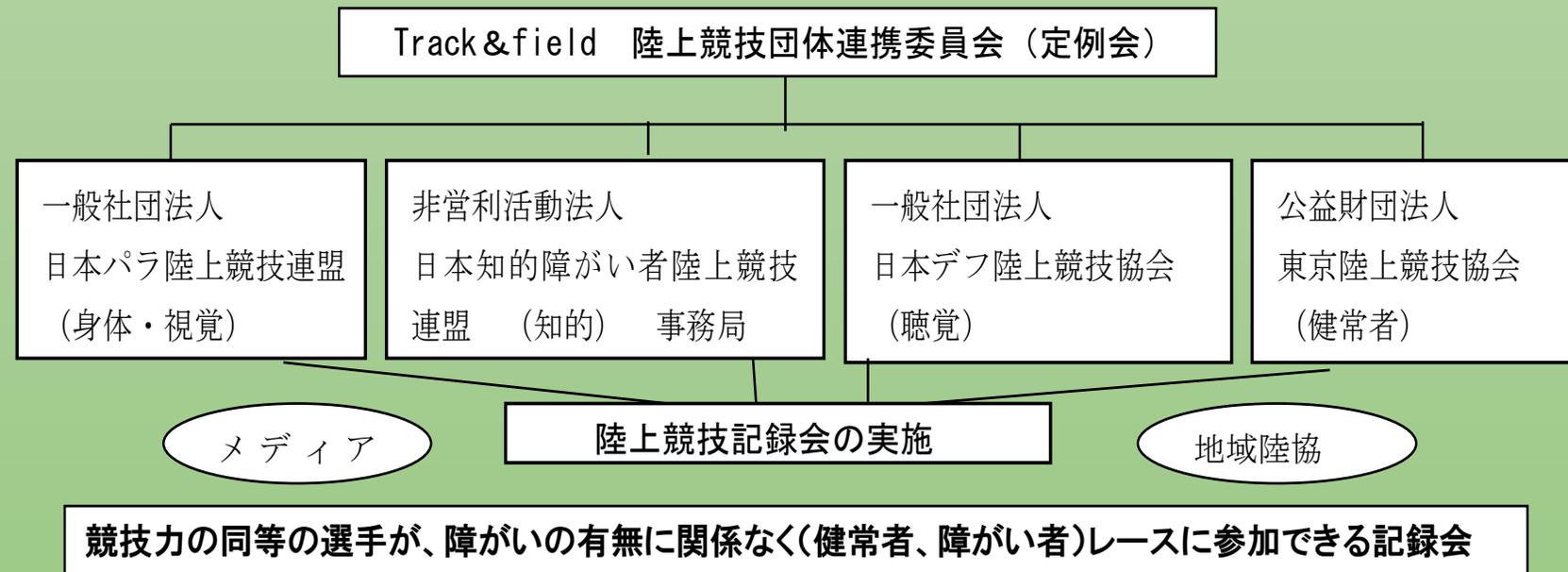
各障がい種における活動方法や支援・指導方法、競技団体運営上の困難性、各競技団体の強み・弱みを共有し、競技団体の横断的連携を促進する

実施方法

各障がい者陸上競技団体、東京陸上競技協会による、連携委員会の発足

・障がい者陸上競技における事務局体制や運営資金等の課題の共有

・地域に根付いたインクルーシブな陸上競技モデルの創出に向けた組織基盤の構築を図る



競技力の同等の選手が、障がいの有無に関係なく(健常者、障がい者)レースに参加できる記録会



東京陸協と連携し、東京都ID連盟、特別支援学校の協力で大会当日受付担当「支える」



東京陸協が全般にわたり、障がい者スポーツを支援。「支える」



東京都永福学園（知的障がい）高校生制作の大会ポスター「見る・支える」

東京モデルの構築 関係団体の連携

特体連関係の学校（320校）へ要項・チラシ発送を支援学校に依頼「見る」

日本ダウン症協会と連携でかけっこ教室の実施「3月21日世界ダウン症の日」イベントと交流イベントで連携「見る・する・支える」

令和3年度 スポーツ庁委託事業 「障害者スポーツ推進プロジェクト」
オール陸上競技 フレンドリー&チャレンジ記録会
2022.3.21 MON 27 SUN 3.26 SAT
駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場 日本体育大学硬式台グラウンド(夜のみ)

3月21日(月) フレンドリー大会 競技開始 10:00
初心者向けの陸上教室・障がい者陸上競技体験会 14:30~

3月26日(土) チャレンジ大会 競技開始 10:00

3月27日(日) チャレンジ大会 競技開始 9:00

主催：特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟
主管：公益財団法人東京陸上競技協会
共催：日本パラ陸上競技連盟 日本デフ陸上競技協会

JAAF JPA NAGASE 山田記念財団



スポーツ庁 令和3年「障害者スポーツ推進プロジェクト」 オール陸上競技フレンドリー（初心者向け）記録会

障がいのあるなしに関わらず参加可能！
主催：特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟
主管：公益財団法人東京陸上競技協会
共催：日本パラ陸上競技連盟 日本デフ陸上競技協会

期日 2022年3月21日（月）

受付時間9時～競技開始10時～（17時終了予定）

会場 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
世田谷区駒沢公園1-1

種目（立位・車いす）（小学生以上）男女同時
60m 100m 200m 走幅跳 4人×100mリレー
メドレーリレー（100m-200m-300m-400m）

性別、年齢、学年、障がいの有無、障がいの違い、車いす使用の有無に関係なくチーム編成できます。

詳細は「オール陸上フレンドリー記録会要項」
をご確認ください。【問い合わせ先】

日本知的障がい者陸上競技連盟 jidaf.jimukyoku@yd6.so-net.ne.jp ☎090-5388-1309（17時以降）

- ・申込時の自己タイム（目標タイム）で同じ速さの人と走る。
 - ・聴覚に障音のある方でスタートランプを使用希望者は日本デフ陸上競技協会へ問い合わせください。
 - ・特別な配慮で実施するので、競技方法（リレーを含む）の詳細については、大会一週間前迄にホームページに掲載予定。
- 参加料・優先申し込み対象者千円（1種目につき）
- ・リレー1チーム二千円
 - ・個人種目は一人2種目以内 リレーは両種目申込み可能
- 申込期間
- ・優先申し込み（障音のある方のみ）
2022年1月11日～1月24日（申込期限1月25日）
- 申込方法
- ・東京陸協ホームページ（<http://toriku.or.jp>）より「オール陸上競技フレンドリー記録会」の申込書式をダウンロード。参加に当たっては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意すること。



障がい者陸上の主な配慮(例)

【視覚 T11、12 の跳躍】 1mの踏切エリア(石灰)を使用。



障がい種別(クラス)	一部抜粋
視覚障がい(T/F11、12 13)	
知的障がい(T/F20)	
脳原性まひ(車いす) T/F33 34 35	
脳原性まひ(立位) T/F35 36 37 38	
機能障がい(立位) T/F46 47	
機能障がい(車いす) T/F52 54	
切断(義足使用) T/F61 62 63 64	
聴覚障がい T70	

男子 走幅跳

決勝

順位	試順	ナンバー	氏名
1	8	101	小久保 寛大(T20#) コクホ カンタ
2	12	116	若田 創(T47#) アスタ ハシム
3	7	199	高橋 成輝(T20) タカハシ ナルキ
4	11	119	又吉 康士(T64#) マタヨシ コウジ
5	6	295	鈴木 翔大(T20#) スズキ ショウタ
6	10	120	稲垣 克明(T63#) イナガキ カツアキ
7	3	195	岡田 遥人(IMP) オカダ ハルト
8	2	136	菅野 怜央(T20) スガノ レオ
9	1	127	有熊 宏徳(T38#) アリクマ ヒロノリ

【座位投擲】



IPCによる障がいクラスを保有していないが障がいがある選手(IMP)

No.	競技開始時刻	招集完了時刻	日本陸連	パラ		種目	組数	人数	種別	ガイドランナー有無	備考
1	10:00		男女	非公認	非公認	小学生	100m	10	77	立位	SIS不使用
2	10:30		女	非公認	公認	中学以上	100m	2	11	立位	SIS使用
3	10:40		男	非公認	公認	中学以上	100m	3	24	立位	SIS使用
4	10:55		女	公認	公認	中学以上	100m	3	19	立位	SIS使用
5	11:10		男	公認	公認	中学以上	100m	10	74	立位	SIS使用
6	12:00		女	非公認	公認	中学以上	100m	1	2	車いす	スタプロ不使用
7	12:05		男	非公認	公認	中学以上	100m	1	7	車いす	スタプロ不使用
8	12:15		男女	非公認	非公認	小学・中学以上	60m	6	41	立位	スタプロ不使用

WPA 競技規則及び規程 2020 - 2021 版

<https://acrobat.adobe.com/link/review?uri=urn:aaid:scds:US:c455e883-1d23-36e8-8aee-1d8e374845fd>

聴覚選手 光スタートシステム は、見る側にとっても大切な用具。場内アナウンスの工夫や、選手へのコール等、手話は情報保障として重要



・聴覚選手が走幅跳をする際、配慮すべきことを、事前説明や、受付時にチラシで徹底するなど、「知らせる努力」がオール陸上の一つの使命のと感じた。
(審判アンケートより)

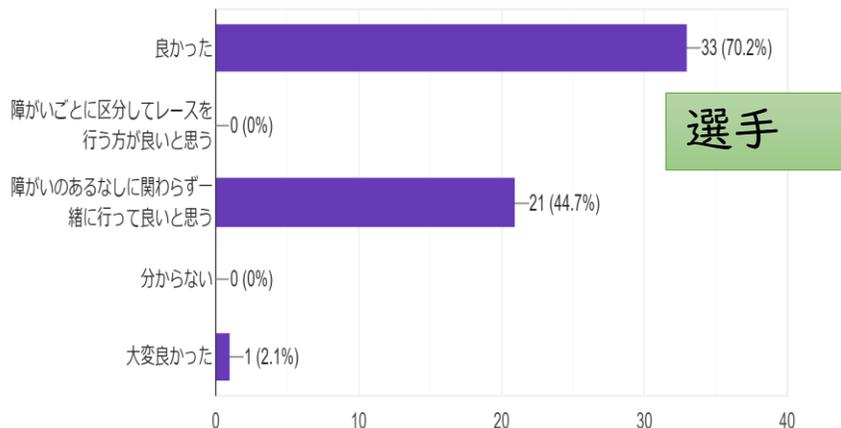
赤ランプ

白ランプ

アンケート結果

質問4 障がいのあるなしに関わらず、一緒に競い...ことに対してどう思いましたか。(複数回答可)

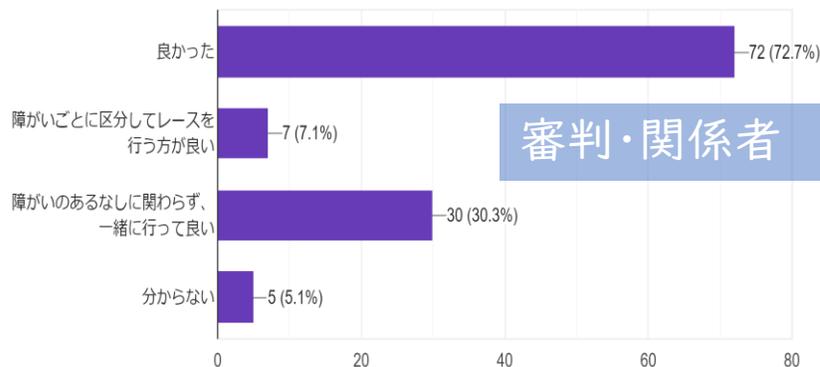
47件の回答



- ・招集の人が優しくて良かった。障害がある人が走っているのを見たら応援したくなりました。様々な障害がある人と走れて楽しかった。
- ・健常者と障がい者が入り交じって参加するスタイルがとても良くいつかこれが「普通」となる日が来ると良いなと思った。
- ・手話で会話したり、義足や車椅子を間近で見せてもらったり、障害者との交流を増やせる機会として今後も継続して頂きたいと切望しています!本当に楽しい競技会でした!ありがとうございます!
- ・20年かけて健常者・障がい者ごちゃまぜの大会ができ楽しかった。これをきっかけに日本全国でこのような試合が増えて欲しい。普段分けられている人と共に陸上競技を楽しむ貴重な機会でした。そういう意味で価値のある大会だった。
- ・今後もこういった大会が増えたり、非公認の種目も増えていくとありがたいです。
- ・5000mに出させて頂きました。周回遅れのランナーにもあと何周というカードを出して頂き有り難かった。東京パラリンピック選手とご一緒に走らせて頂き、嬉しかった。
- ・理解ある審判によるスターティングブロックの設置やスタートまでの声かけに、誠に感謝いたします。
- ・参加の目的は様々だと思うが、普段分けられている人と共に陸上競技を楽しむ貴重な機会でした。そういう意味で価値のある大会だと思います。
- ・要項をもっとシンプルに。スタートランプ(聴覚)がある大会は少ないので、地元の大会でも設置してもらいたい。

質問3 障害のあるなしに関わらず、一緒に競い合...たことに対してどう思いましたか(複数回答可)

99件の回答



- ・障がい者と健常者とか壁をなくし、一つの競技会を作れたということが素晴らしかった。競技会が楽しくなる。
- ・障がい者との垣根がないことを子供やスポーツを通して知ってほしい。選手が楽しんで参加していて、大変楽しかった。
- ・課題点が出てきたが、各団体で情報共有。そして、21日大会の反省点生かし、各団体協力し合えたことはとても良かったと思う。何回か障がい者の大会に出席をして、なじみやすくなってきた。
- ・健常の選手と障がいのある選手、男女が一緒に走ったり垣根がなくて交流できてとてもよかった。
- ・大会運営を協力し合いながら行うことで、4団体の連携をさらに強めることができた。
- ・選手同士もフレンドリーで雰囲気が良くてとても良い大会だった。健常者、障がい者等様々な選手と一緒に競うことは良いと思う。この大会は今後も続けて欲しい。
- ・平等に扱う競技であったため、勉強になった。
- ・普段は他の障がい者団体とともに大会を運営、サポートするという機会がほとんどなく、また他の障がい者の試合も観たことがなかったため、自分達以外の障がい理解にも繋がり、大会もとても新鮮だった。健常者、障がい者関係なく同じ場で競技をしていることに、とても感激した。
- ・互いの理解を深めるために、招集所での待ち時間に義足の説明、レーサーを近くで見たり、健常者との架け橋になれたかもしれない。

成果と課題について

コロナ禍の第6波期であったが、2大会における参加者の障がいカテゴリー別と年代層においては、健常者と同等の参加があり、また、全障がい種、年代層からの参加があった。

		視覚	身体(車いす)	身体(立位)	聴覚	知的
フレンリー記録会	男	4	7	37	5	20
	女	3	2	9	7	8
チャレンジ記録会	男	14	19	48	17	73
	女	6	10	20	12	16
合計		27	38	114	41	117

		視覚	身体(車いす)	身体(立位)	聴覚	知的
10名	小学校	0	0	2	6	2
59名	中・高校	2	3	17	16	21
268名	一般	25	35	95	19	94

■分担		主担当	担当	協働者	非対象者・相手方	状況	期限
総括	役割分担表	奥松					
〇総務案							
スポーツ庁との窓口		主担当	担当	協働者	非対象者・相手方	状況	期限
報告書		奥松	兒玉	各担当	スポーツ庁		
予算管理		奥松	大島 小山				
スポーツ庁報告用事例研究		奥松	小林雄				
宿泊手配 取りまとめ一覧作成		奥松	小林雄				
参加料入金先							
案内状作成							
案内状発送先リスト作成							
案内状発送							
問い合わせ窓口							
QA取りまとめ							
WPAエントース申請							2月28日
WPA記録申請(SDMS)		工藤			WPA	大会後に実施	
ドーピング申請		工藤			JADA	完了	
ドーピングNFR		工藤					
トランシーバー手配		小山					
トランシーバー配布計画		橋本					
コロナ対策グッズ発注		小山					
コロナ対策グッズリスト作成		小山					
視察対応(神戸ほか)		井内			神戸市ほか		
視察者リスト作成		小林雄					
駐車場の駐車票作成		工藤				完了	済み
駐車票配布		工藤					
駐車券管理		工藤					
駐車場希望者を募る文言作成※車いす義足優先		工藤				作業完成。HPにアップ準備中	3月7日
プログラム編集		小山				入稿準備中	3月7日
プログラム台割作成		小山				第1案完了。2案完了(3/4)	
プログラム用日本最高記録		奥松		小山		進行中	
プログラム用クラス別日本記録		小山	山下?			進行中	

両大会は4つの団体が連携していく為、役割分担表をもとに、会議が進められ、重要な資料となった。

マーケティング勉強会

「関わりあうことで社会や意識を変える」≡パラスポーツの価値

NFのスポーツ協賛に必要なのがNF自身のマーケティング活動。
必要となこと自分たちだからこそできる(企業に返せる)ものは何か?

- ①競技団体のビジョンを明確に打ち出し、企業や自治体から共感を得る。
- ②競技特性を活かし、企業の要望を察知することで貢献できる部分を磨く。
- ③大会やイベントに、少し観客視線を加えることでワクワク感を演出する。

スポンサーのかかわり方

【器具装置の開発】【強化に向けた支援】

【コミュニケーション発信】

【体験イベントの実施・競技普及】

【競技を知る・楽しむための観戦促進支援】

【ダイバーシティな社会づくり(ハード・ソフト)】



フレンドリー交流イベント 2022年3月21日(世界ダウン症の日)
14時半~15時半(小雨決行) 駒沢陸上競技場にて

主催: 日本知的障がい者陸上競技連盟
共催: 東京陸上競技協会 日本パラ陸上競技連盟 日本デフ陸上競技協会

ゲスト: 奥松 今井 川内 後藤 小林 増田

参加条件: オール陸上競技フレンドリー記録会の参加者(家族)及びスポンサー

初心者陸上(かけっこ)教室コース
★歩きから走りにつながる動きづくり
＜スペシャルコーチ＞
ヤマダホールディングス 陸上競技部

体験コース
★光スタート30m(デフ体験)
★レーサー試乗
★フレームランニング試乗(新種目)

★世界ダウン症の日を記念して
ダウン症のチャレンジャーも招待!

課題等

- ・各地域陸協と連携で、障がいのある無しにかかわらず、地域に根ざした大会実施(普及)
- ・障がいのある選手でも地域大会に出場し、障がい者の上位大会を目指す。(競技力向上)
- ・国際基準に基づく国内ルールで、必要な地域大会実施のための用具整備。
- ・障がい者スポーツ独自の用具等ハード面でも早急に各地域が整備する必要性がある。
- ・普及の目的から陸上教室の開催、イベント等今後も各地域を含め、継続、実践していきたい。

